



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 スーパーバッグ株式会社

コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田清明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,997	△2.9	134	—	98	—	73	—
28年3月期第1四半期	8,238	△0.4	△62	—	△48	—	△48	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △98百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	4.79	—
28年3月期第1四半期	△3.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	17,784	—	3,585	—	19.5	—
28年3月期	17,786	—	3,776	—	20.5	—

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,466百万円 28年3月期 3,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,400	3.1	200	—	200	—	130	—	8.49
通期	36,000	2.4	600	99.3	600	127.3	360	157.1	23.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	16,861,544 株	28年3月期	16,861,544 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	1,558,593 株	28年3月期	1,558,471 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	15,302,982 株	28年3月期1Q	15,307,223 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和策を背景に企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど、景気の持ち直しが期待されるなか、米国・欧州における政治的混乱や大幅な為替・株価の変動と、それに伴う企業家心理への悪影響や個人消費マインドの落ち込み懸念などから、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは『収益力とグループ総合力の強化に向けた変革』を基本方針として、安定した収益の確保に向け、「売上と利益の確保・拡大」、「生産利益の向上」、「購買力（仕入品調達力）の強化」、「物流コスト削減」、「間接部門の効率化、経費削減」を課題として、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減に取り組み、業績の回復に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,997百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益134百万円（前年同四半期は営業損失62百万円）、経常利益98百万円（前年同四半期は経常損失48百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失48百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、8ページ「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用172百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の角底袋や手提袋の販売数量増加などにより、売上高は前年同四半期に比べ58百万円増加して3,111百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は生産効率の向上やコスト削減に努め、前年同四半期に比べ81百万円増加して153百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ198百万円減少して3,290百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格の低下などにより、前年同四半期に比べ109百万円増加して141百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、包装用品や販売用品の減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ101百万円減少して1,595百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は仕入商品の利益率改善により、前年同四半期に比べ2百万円増加して11百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少して17,784百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が496百万円増加、たな卸資産が270百万円増加、前払費用が90百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が547百万円減少、電子記録債権が195百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ110百万円増加の12,160百万円となりました。固定資産は、設備投資等により133百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費81百万円、投資有価証券の時価評価差額が179百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ113百万円減少の5,623百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ187百万円増加して14,198百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が262百万円増加、未払金が59百万円増加、賞与引当金が118百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が211百万円減少、電子記録債務が136百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ190百万円減少して3,585百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により73百万円増加した一方、剰余金の配当で91百万円減少、その他有価証券評価差額金が124百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の20.5%から19.5%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,340	1,836
受取手形及び売掛金	5,844	5,296
電子記録債権	1,221	1,025
商品及び製品	2,490	2,714
仕掛品	387	399
原材料及び貯蔵品	447	482
繰延税金資産	115	147
その他	205	261
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	12,049	12,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,446	6,347
減価償却累計額	△5,139	△5,062
建物及び構築物(純額)	1,306	1,284
機械装置及び運搬具	10,762	10,358
減価償却累計額	△9,934	△9,584
機械装置及び運搬具(純額)	828	773
土地	1,123	1,123
リース資産	409	417
減価償却累計額	△126	△135
リース資産(純額)	283	282
建設仮勘定	80	162
その他	814	807
減価償却累計額	△772	△755
その他(純額)	41	52
有形固定資産合計	3,664	3,678
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	0	-
その他	42	38
無形固定資産合計	58	54
投資その他の資産		
投資有価証券	1,440	1,240
破産更生債権等	1	3
事業保険金	84	84
差入保証金	256	255
退職給付に係る資産	142	162
繰延税金資産	97	152
その他	3	3
貸倒引当金	△11	△13
投資その他の資産合計	2,014	1,890
固定資産合計	5,737	5,623
資産合計	17,786	17,784

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,458	5,247
電子記録債務	2,115	1,979
短期借入金	2,505	2,669
リース債務	42	43
未払金	533	592
未払法人税等	50	54
未払消費税等	29	51
賞与引当金	220	339
設備関係支払手形	0	13
設備関係電子記録債務	57	79
設備関係未払金	7	33
その他	189	186
流動負債合計	11,211	11,290
固定負債		
長期借入金	1,806	1,905
リース債務	255	251
役員退職慰労引当金	67	70
環境対策引当金	4	4
退職給付に係る負債	665	676
固定負債合計	2,799	2,907
負債合計	14,010	14,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,450	1,450
利益剰余金	940	921
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,505	3,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	49
繰延ヘッジ損益	△19	△33
為替換算調整勘定	81	45
退職給付に係る調整累計額	△86	△81
その他の包括利益累計額合計	149	△21
非支配株主持分	121	119
純資産合計	3,776	3,585
負債純資産合計	17,786	17,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,238	7,997
売上原価	7,050	6,576
売上総利益	1,187	1,420
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	598	648
給料及び手当	347	359
賞与引当金繰入額	59	49
退職給付費用	17	16
賃借料	45	43
旅費及び交通費	24	26
その他の経費	157	140
販売費及び一般管理費合計	1,250	1,285
営業利益又は営業損失(△)	△62	134
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	12
貸倒引当金戻入額	0	-
持分法による投資利益	7	11
為替差益	36	-
受取賃貸料	7	7
作業くず売却益	1	1
雑収入	4	5
営業外収益合計	69	38
営業外費用		
支払利息	23	18
為替差損	-	49
役員退職慰労金	24	-
その他	7	7
営業外費用合計	55	75
経常利益又は経常損失(△)	△48	98
特別利益		
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	0	2
固定資産売却損	-	6
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△48	89
法人税、住民税及び事業税	10	41
法人税等調整額	△1	△28
法人税等合計	8	12
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57	76
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	73

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	△124
繰延ヘッジ損益	△16	△14
為替換算調整勘定	△2	△36
退職給付に係る調整額	6	5
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△5
その他の包括利益合計	77	△175
四半期包括利益	20	△98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28	△97
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,052	3,488	1,697	8,238	—	8,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,052	3,488	1,697	8,238	—	8,238
セグメント利益又は損失(△)	72	32	9	114	△177	△62

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△177百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,111	3,290	1,595	7,997	—	7,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,111	3,290	1,595	7,997	—	7,997
セグメント利益	153	141	11	307	△172	134

(注) 1 セグメント利益の調整額△172百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。